

2つの収穫

今日は、終末について教えている聖書の主な部分である収穫にフォーカスしたいと思います。収穫は、初めから終わりまで一貫して流れている聖書の主なテーマです。この地が続く限り、種まきと刈り入れはやむことはないという、神のノアへの約束で、ノアの時代に最初に言われたものだと私は思います。

しかし最初に、カナンの地に入る直前のイスラエルへの、モーセの指示がある申命記をまず開きましょう。モーセは、イスラエルの民としての振る舞いはどうあるべきか、神が彼らに与えると言った相続地の利益と祝福をどのように楽しむことができるかについて完全な指示を与えています。申命記 11:13-14 を読みましょう。イスラエルの民が、基本的に平地で比較的雨の少ないエジプトを出てきたことを念頭に置いてください。水の主な供給源は、雨ではなく、ナイル川でした。エジプトでは、ナイル川の水にシャドフと呼ばれるバケツを沈め、それを引き上げて、作物のために必要な地域に直接つながっている小さな水路に流し込みます。ですから、ある意味、水は自分たちの力によるものでした。モーセは民に言いました。あなたがたが約束の地に入っていくとき、今のような土地ではなく、山や谷の地に神によって天から雨が注がれると。そして、それはあなたがたが動けば、いつでも水を得ることができるのではない、とモーセは言いました。しかし、もしあなたがたが神に従い、忠実であるなら、神はあなたがたに必要な雨を降らせてくださると。ここに約束があります。しかし、聖書ではほとんど例外なく、雨は収穫の約束と直結しています。そして私たちは、収穫は雨次第であることを理解しなければなりません。もちろん、どの国でも究極的にはその通りですが、イスラエルの地においてはそれ以上のものです。なぜなら、2つの主な季節があるからです。暑く乾燥した季節と、寒く湿気の多い季節です。わずかな春の時期があり、実質的には秋はありません。

熱く乾燥した季節は、だいたい4月から9月の終わりごろで、雨はまったく降りません。そして、冬の季節の初めになると、先の雨と呼ばれる雨が降ります。農業の経済において、その目的は、その時まで硬く焦げ付いた土を柔らかくし、それで農夫は収穫に導くプロセスを始めることができるのです。それは通常、国全土を覆うおもな雨です。

その後、冬の間ずっとあちこちで雨が断続的に降りますが、聖書的な年の最初の月の過ぎ越しの頃、私たちクリスチャンのイースターと一致する、3-4月のいわゆる後の雨、あるいは終わりの雨と言われるときまで、全体的な雨の季節はありません。そして、農業における後の雨の目的は、種の発芽です。

先の雨か後の雨がちゃんと降らなければ、おそらく収穫も失敗するでしょう。ですから、雨は常に、収穫と密接に関連しています。そして、モーセがここでイスラエルに与えているこの約束において、はっきりと雨と収穫を結びつけています。モーセはまた、収穫の3つのタイプを取り上げています。それがすべてというわけではありませんが、穀物、新しい葡萄酒、油です。私たちは、聖書全体、少なくとも旧約聖書を通して、これらが3つの基本的収穫であることが分かります。穀物の収穫、ぶどうの収穫、油の収穫です。それらがここで言われているのです。申命記 11:13、14 を読みます。

「もし、私が、きょう、あなたがたに命じる命令に、あなたがたがよく聞き従って、あなたがたの神、主を愛し、心を尽くし、精神を尽くして仕えるなら、わたしは季節にしたがって、あなたがたの地に雨、先の雨と後の雨を与えよう。あなたは、あなたの穀物と新しいぶどう酒と油を集めよう。」

雨が神からの贈り物であることに気づきますか。聖書は雨が主の神聖なコントロールのもとにあることを強調しています。

「わたしは季節にしたがって、あなたがたの地に雨、先の雨と後の雨を与えよう。」

そして、神の経済における目的に気づいたでしょうか。

「あなたは、あなたの穀物と新しいぶどう酒と油を集めよう。」

収穫の3つの形があります。そしてこれは、黙示録で繰り返されているように、実際聖書全体に流れています。

また、これは聖書を通して明らかにされた啓示ですが、雨は聖霊がほとぼしる様子です。また、私は教会の歴史において、聖霊の降り注ぎが先の雨と後の雨に呼応しています。そして、先の雨がペンテコステの日と初代教会に注がれました。そして、聖霊は同様に全地にわたって教会の上に注がれました。それは、収穫を導くために意図されたプロセスを動かしました。

それから、冬と言える季節を通して、聖霊はほとんど毎世紀どこかの教会で単発的に降り注がれました。しかし、教会全体に訪れる主な聖霊の注ぎはありませんでした。その後、これは私自身の理解によるものですが、20世紀の初め、実際20世紀最初の日である1900年1月1日にある意味、後の雨と言える聖霊の注ぎが始まりました。なぜ、私が1月1日と言うかは、アメリカのカンザス州のトペカという町の聖書学校でその日、一人の若い女生徒が聖書学校の先生たちの所へ行ってこう言ったのです。「新約聖書のパターンに従って、私が聖霊を受けることができるように私に手を置いてほしいのです。」さて、先生たちはそれが異言で話す結果となることを信じていませんでしたが、彼女が願ったとおりにすると、彼女は異言で話しました。それは、ある意味聖霊のバプテスマの真理の突破口でした。

そして、1904年にロサンゼルスのアズサ・ストリートにその有名な訪れがやってきました。

実際、興味深いことに、その前の世紀の終わりにアルメニアで聖霊の注ぎのいくつかの兆候があったのです。しかし、とにかく、20世紀初めに、後の雨が注がれ始めたと言うことができます。そして、それは最終的にすべての教会に栄光を与える訪れとなりました。その後現在までの間に、何らかの形で聖霊の超自然的な訪れがなかった国や教会は基本的にはありません。私は、それは後の雨だと信じます。それが後の雨の成就とは信じません。さらに大きなものはまだ来ていないと思います。しかし、霊的に常に念頭に置かなければならないことは、当然のことなのですが、よく聞いてください。雨は、収穫のために与えられるのです。そしてもし、あなたがそれを理解していないなら、あなたの人生のための神の目的を逃してしまいます。

私は、基本的に50年ほどペンテコステのムーブメントの中にいます。ペンテコステとか、カリスマ派、あるいは過激主義などと呼ばれているものです。あなたが何と呼ぼうと、ともかく二種類に分かれます。聖霊の注ぎを理解している人々と、そうでない人々です。そして、聖霊の注ぎを理解していない人々は、自分へのわずかな霊的祝福を願うサークルのような形で、深い霊的真理を語り合い、深い聖書の学びをし、日曜日の朝に集まり、握手し互いに、「あなたに神さまの祝福がありますように。じゃ、また来週！」と言います。そして、彼らは自分たちの周りの人々に対する影響を与えることのない、小さな霊的集団です。

そして、雨が収穫のために与えられることを理解する人々もいます。その人々は通常、とても有能であるとか、特別な教育を受けたとか、知的であるというわけではなく、ただ雨というのが、神の国に入るたましいを集める収穫のために与えられていることを理解する十分な感覚を持っているにすぎません。そして、彼らは出て行って、国々をひっくり返すのです。能力の違いによるのではなく、神の目的の理解によるものです。

ですから、私が力の限り強調したいことは、雨は収穫のためにあるということです。それはあなたを超霊的な者や特別に祝福される者とするためにではなく、神の収穫において、あなたに影響ある働き人にさせるためです。

預言者エレミヤに移りましょう。エレミヤ 5:23-24 です。エレミヤは、当時イスラエルの民が、神がなさっていることに注意を払わず、自分たちを覆い隠し、肉的な考えをしていたため、民を戒めています。彼らは神が言われ、なされていることに盲目で耳がふさがれていました。エレミヤはこう言っています。

「ところが、この民には、かたくなで、逆らう心があり、彼らは、そむいて去って行った。彼らは心の中でも、こう言わなかった。『さあ、私たちの神、主を恐れよう。主は大雨を、先の雨と後の雨を、季節にしたがって与え、刈り入れのために定められた数週を私たちのために守ってください』と。」

雨は何のために与えられていますか。そう、刈り入れです、イスラエルが犯した間違いは何でしたか。彼らは雨が完全に神次第であること、そして収穫のために雨が与えられていることを理解していなかったのです。彼らは神の目的を見逃していました。そして、神は収穫のために定められた数週を守ってくださいと、この箇所は言っています。

数年前、私にとってそれは驚くべき啓示でした。事実、私はあるレストランに少し早めに入って行って、座る席を探していました。しかし、その席に座ろうとしたとき、テーブルの上に小さな表示があり、私は座ることができませんでした。予約席と書かれていたのです。そして、私が先ほどの聖句箇所を読んだとき、そうだ、神は収穫が集められる短い数週間のために小さなしるしを置かれるのだと思いました。神はそれを予約しておられます。神はサタンに言います。「おまえにはその週を与えない、私が収穫のために取っておいてあるのだから。」と。数か月ではなく、数週間です。あなたが農夫か、多くの家畜ではなく、農地を持っている人なら、一年の中で重要な時期を知っているでしょう。一年の中で一番忙しい時期はいつですか。総動員して働かなければならない時期はいつですか。そう、収穫です。箴言 10:5 です。

「夏のうちに集める者は思慮深い子であり、刈り入れ時に眠る者は恥知らずの子である。」

すべての人が油断せず働く必要があるその時期に、眠っている人がいます。その子は父の恥となります。その父はその子を恥じます。

私たちの父に恥をかかせる息子たちが教会の中にいると思いますか。収穫の時に彼らは眠っているのです。教会の椅子に座って寝ている、メッセージを聞いていながら、賛美を歌いながら、刈り入れるべき収穫にまったく気づいていない。あなたはそのような部類に当てはまりますか。私が自己中心についてお話したことを覚えていますか。ここに、

その自己中心のもう一つの側面があります。自分の霊的素晴らしさ、自分の霊的賜物に興奮し、霊的な言葉、異言を語ることに包まれているだけで、刈り入れなければならない収穫の時に眠っています。

そして、ヨエル2章を開くと、ヨエルの預言で自然の収穫に相当する霊的収穫を見ることができます。ヨエル書のテーマ全体を取り扱うことはできませんが、ヨエル書の3つの章はそれぞれ3つの主な区分となっています。第一区分は破壊、第二区分は回復、第三区分はさばきです。そして、この2章で回復が訪れ、その回復の手段は聖霊を表す雨です。ヨエルは2:23で言っています。

「シオンの子らよ。あなたがたの神、主にあつて、楽しみ喜べ。主は、あなたがたを義とするために、初めの雨を賜り、大雨を降らせ、前のように、初めの雨と後の雨とを降らせてくださるからだ。」

雨の目的に注目してください。

「打ち場は穀物で満ち、石がめは新しいぶどう酒と油とであふれる。」

3つの主な収穫は何ですか。穀物、ぶどう酒、油です。何がそれらをもたらしましたか。後の雨です。後の雨に相当する霊的な物は何ですか。28節を見てみましょう。

「その後・・・」とあります。昨日のメッセージを聞いた人は、後と言うのが何かとお話しました。それは、神の民がともに集まり、断食し、祈り、神を呼び求めたあと、ということです。

「その後、わたしは、わたしの霊をすべての人に注ぐ。」

ペテロがペンテコステの日にこの箇所を引用し、預言者ヨエルによって語られている、と言ったことは興味深いです。しかし、ペテロは「その後」と言わず、終わりの日に、と言いました。使徒の働き2章をよく読んでみると、日本語では同じになっていますが、ペテロの言い方は、神が「私の霊を注ぐ」です。しかし、ヨエル書で言われているのは、私のバケツを空っぽにする、それをすべて注ぐ。そして神はすべての人に、と言っているのです。私が良いペンテコステ派クリスチャンとして、1960年代にカリスマ的ムーブメントに最初に出会ったとき、ショックを受けました。私は思いました。聖公会、長老派、バプテスト派は聖霊に対する何の権利もない。それはペンテコステ派のものだと。しかし、神は私に、聖公会もバプテストも、長老派も、プレザレンもみな、すべての肉、すべての人であることを徐々に思い起こさせました。そして神は、私はすべての人にそれを注ぎ込むと言われたのです。そして、神は私の意見を求めることなく、それをし始め、ただそれをなされたのです。

しかし、まだ注ぎを受けていない多くの肉、すなわち人々があります。世界には10億以上のムスリムがいます。そして基本的に、わずか数滴だけが注がれたにすぎません。今日の世界の統計は興味深いです。中国人は10億を超えています。言い換えれば、5人に一人が中国人です。ご存知でしたか。あなたは中国人に伝道していないなら、国々への伝道について語ることはできません。そして、それに近い数のムスリムが世界中にいるのです。私たちは彼らに対して何をしていますか。彼らは肉を持っていないのでしょうか。彼らにも聖霊の訪れがあります。神がそう言わ

れたからです。わたしは、すべての人に私の霊を注ぐと。そして、神は終わりの日のクライマックスにつながる超自然的な現象について語っています。主の大いなる恐ろしい日における、血と火と煙です。

では、新約聖書に移りましょう。マタイ 13:39 のシンプルな言葉です。

「収穫とはこの世の終わりのことです。」

みなさん、この世が永遠に続くものではないことを覚えておくことは重要です。それに対するあなたの応答はどういったものでしょうか。主をほめたたえますか。私はそうします。私は、この世がいつまでも続いてほしくありません、この世は混とんとしています。そして、ますますひどくなっています。良い知らせは、この世が永遠に続くものではなく、クライマックスがやって来るとことです。それは、収穫を伴ったクライマックスで、収穫はこの世の終わりのことです。

私は以前、私が知識人で霊的ではなかったとき、T. S.エリオットというイギリスの詩人の本を読んでいた。彼の『荒地』という詩があります。みなさんにそれを読んでくださいというわけではありませんが、彼が言っていることの一つに、世界は年配の女性が空き地に薪を集めているような虚しい終わりに向かっていとあります。彼は間違っています。世界は期待外れで終わるわけではありません。クライマックスに向かうのです。神は期待外れの神ではありません。そして、収穫がクライマックスとなり、収穫はこの世の終わりです。終わりという単語は、通常の終わりという単語ではなく、この世の完成です。一つの壮大なクライマックスにおいて、この世のすべてのより糸をまとめ合わせることで。それでは、これらと並列する新約聖書のもう一つの聖句を開きましょう。ヤコブ 5:7-8 です。

「こういうわけですから、兄弟たち。主が来られる時まで耐え忍びなさい。」

いつまでですか。そう、主が来られるまでです。ゴールは何ですか。私たちは何を待ち望んでいますか。主の訪れです。そして、私たちはその時まで耐え忍ばなければなりません。

「見なさい。農夫は、大地の貴重な実りを、秋の雨や春の雨が降るまで、耐え忍んで待っています。」

収穫ができないことに注目してください。農夫がどれほど長く収穫を待ち望んでも、先の雨と後の雨が降るまで、収穫は刈り取りできないのです。これは自然世界での真理で、それは霊的においても真理です。そして、ヤコブはそれを適用してこう続けています。

「あなたがたも耐え忍びなさい。心を強くしなさい。主の来られるのが近いからです。」

クライマックスとは何ですか。主が来られることです。しかし、収穫が集められるときにのみ、そのクライマックスが来るのです。そして、収穫は先の雨と後の雨まで刈り取ることができません。

また、それは3つの出来事が続けて起こります。聖書は正確な時を示しているとは思いません。まず、後の雨です。次に、収穫の刈り取りです。3番目に、主の再臨です。主の再臨の日や時間を知っている人はいません。何年にやっ

て来るかも知れません。しかし、それはとても近いと信じます。おそらく、私たちの大半が考えている以上に近いでしょう。私は、数年内に来られると言っているではありません。いつ来られるかわかりませんが、私たちが予測している以上に近い将来に来られると私は思います。

しかし、主は神の順序で来られます。物事は、神が言われる方法で起こらなければなりません。後の雨、収穫、たましいの最終的な刈り取り、そして主の再臨です。

10年後には80億を超えと言われる人口は驚異的な数字で、私たちにはそれがどのようなものであるか理解できません。しかし、もし、聖霊の権威的動きが教会の上に、またキリスト教が何であるかさえない人々の上に注がれるなら、そして、もし教会が雨の目的を理解し、それに備え、従い、御霊の超自然的な賜物を備えた聖霊の力で行くなら、これまでの教会の歴史で救われた以上の多くのたましいが10年の間に救われることが実に可能なのです。私は、個人的にそれは過小評価であると思います。神の国に入る、ものすごい数のたましいの刈り取りがあると思います。そして、それはとても近いと思います。

さて、幻について少しお話ししたいと思います。箴言は、幻のない民は滅びる、と言っています。彼らは訓練されていない者となります。私たちが訓練させるものは、幻です。あなたがそれに気づいているかどうかはわかりません。たとえば、オリンピックで闘うアスリートを例にとりましょう。もちろん、オリンピックの前には国内大会があります。しかし、その世界大会のステージに立つために、何を食べるか、どんなエクササイズをし、何の本を読み、精神面を整え、睡眠時間やトレーニングなど、全生活を管理しながら、最も厳しい訓練をしなければなりません。それは厳しいものです。いったい何が、そのような人々にその訓練を通りぬけたいと願わせるのでしょうか。ビジョンです。誰よりも高く飛ぶ自分、誰よりも遠く飛ぶ自分、誰よりも早く走る自分、槍を投げている自分を思い描いています。目の前にあるビジョンとともに、その人は、ほとんどのクリスチャンが考えたことさえない訓練を自分に課すでしょう。しかし、パウロはクリスチャン生活をアスリートの生活と比較して、すべてのアスリートは行なうことすべてにおいて自制をすと言っています。そしてクリスチャンも、金メダルを勝ち取ろうとするなら、等しく自制しなければなりません。これは、I コリント 9:27 の最後の部分の意識された訳です。幻のない民は滅びます。

私はこれに当てはめ、みなさんにお聞きしたいと思います。いったい何人の人が少なくとも一度はやせようとしてダイエットを試みましたか。成功した人は何人ぐらいいるでしょうか。2回ダイエットを試みた人はどれぐらいいますか。

深入りしないでおきましょう。成功するダイエットの本質を知っていますか。ビジョンです。あなたがどのようなべきかを考え、思い描くことです。そして、今日私はケーキを食べましたが、ケーキが目があるとき、自分のウエストラインを思い描きます。ケーキはダメ！実は2つも食べてしまったのですが。しかし、神の恵みにより、私はダイエットに成功し、今少し楽しむことができます。

しかし、それにはビジョンが必要です。それは同じことなのです。もし、私たちが収穫の刈り取りにおいて成功するには、収穫のビジョンを持たなければなりません。そして実に、私の今日の目的は、このメッセージを聞き終えたときに「たとえ犠牲が求められたとしても、眠れない夜が求められたとしても、仕事をあきらめることを求められたとしても、世界の荒れ果てた不毛の地に行くことを求められたとしても、私はビジョンを見ている。そのビジョンは私の目の前に

ある。」と言えるビジョンをあなたに与えることです。イエスが弟子たちに言ったことを見てください。彼らには問題があり、ビジョンを見ることができませんでした。ヨハネ4章のイエスがサマリヤの女を取り扱った後の35節です。イエスは弟子たちに言いました。

「あなたがたは、『刈り入れ時が来るまでに、まだ四か月ある』と言ってはいませんか。さあ、わたしの言うことを聞きなさい。目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。」

イエスのビジョンと弟子のビジョンの違いを見てください。弟子たちは自然界のものしか見えませんでした。彼らは収穫にはまだ4か月あると言いました。イエスはそのような見方ではないと言いました。イエスは畑を見ると、それはすでに白くなっていると言いました。そして、井戸で非常に素晴らしい束を刈り取られたのです。そこには12人の聖書学校の学生がいました。彼らは村に入って行き、食べ物を手に入れ、たましいに触れることなく、村を出ました。イエスはご自身を女に現わし、彼女は自分の水がめを置いて、村に入って行き、村全体に伝え、村中の人々がイエスに会うために出てきました。一人の女 対 12人の聖書学校生(弟子たち)です。なぜでしょうか。彼女はビジョンを持っていました。それはビジョンの問題でした。

さて、マタイ9章でイエスは非常に痛ましいことを言っています。ビジョンの話をしてしますので、36節から読みましょう。イエスは弟子たちとは違った見方で、人々を見ていました。

「また、群衆を見て、羊飼いのない羊のように弱り果てて倒れている彼らをかawaiiそうに思われた。」

彼らにはラビ(教師)がおり、シナゴークがありました。羊飼いがいませんでした。

「そのとき、弟子たちに言われた。『収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。』」

それが、当時の事実であるならば、今日、その何百倍もそれが事実であると私は言いたい。収穫は多いが、働き手は悲しいほど少ないのです。推定では、百万人のムスリムに対して一人の宣教師と見積もられています。しかし、収穫は多いのです。

妻と私は以前インドネシアに行きました。そこはムスリム国です。しかし、過去20-30年間に人口の30%がクリスチャンになったと見積もられています。そして、神のことばの真理への求めに対して不十分です。私たちはビデオについて話しました。インドネシアのすべての村で聖書の教えのビデオテープを販売しているミニストリーに携わっている一人のクリスチャンがいます。村には電気がありませんが、彼らは車のバッテリーや他の方法でそれを流します。

もう一つ、おもにムスリム国であるマレーシアで私たちを驚かせたことの一つは、水道のない村々を車で走ると、大きな店らしきものはないのに、みなテレビのアンテナは立っているのです。これは、真実です。

雑誌タイム誌に数か月前に大きな記事が出ており、ビデオ革命が政治体制をひっくり返しているというものでした。

私は近年の東側世界の混乱の理由の一つは、人々が西側諸国がどのようなものであるかをテレビやビデオで知ったことにあると思います。そして、政治体制は人々を抑えることができませんでした。私は政治問題に興味はありません。しかし、収穫の刈り取りに興味があります。

私たちは、この5月にシンガポールで各地の責任者の会議を持ちました。そして、その会議の目的の一つは、世界伝道的手段としてのビデオについて話し合うことでした。そして、私たちがマイアミの地域教会の牧師と話し合っている間、一人の若者が、「私が今朝デボーションを持っていて、何かのために祈ろうとしたけれど、あなたとあなたのミニストリー以外に祈ることができませんでした。」というファックスを送ってきました。そして、「私が祈っている間、神は私に幻を与え、収穫を刈り取っているカマを見て、それはニュージーランドの地域で始まり、東南アジアを通して中国に上って行くのを見ました。そして、そのカマの刃はビデオテープでした。あなたはビジョンを持っていますか。あなたは、何が起ころうとしているかに気づいていますか。それとも、ただ通常のすべきことに満足していますか。

あなたはこう言うかもしれません。「プリンス先生、私には多くの賜物がありません。私は説教者でもなく、伝道者でもありません。」あなたは非常に危険です。3種類の人についての、タラントのたとえを取り上げましょう。5タラント受け取った人は、それで商売をし、もう5タラント儲けて2倍にしました。2タラント受け取った人もそれで商売をし、2倍にしました。彼らは100%増やしたのです。しかし、1タラント受け取った人は、それに価値を認めず、地に隠しただけでした。そして、主人が確かめるために戻って来た時、彼は言いました。「ここにあなたのタラントがあります。私はあなたを恐れて地に隠しました。」主人は何と言ったか覚えていますか。「悪い、なまけ者のしもべだ。」です。あなたは、怠惰は悪いことであることに気づいていますか。

そして、イエスは言いました。「あなたがそれを自分でどうすることもできなかったなら、それを銀行に預け、利息を受け取るべきだった。」そして、イエスは何と言いましたか。「役に立たぬしもべは、外の暗やみに追い出さない。そこで泣いて歯ぎしりするのです。」このように、1タラントの人は、私はたくさん持っていない、神は私に何を期待しているだろう、という態度のゆえに最大の危険の中にあります。あなたが、自分の働きをするのに十分でないなら、それを銀行に預け、別のミニストリーに投資することはあなたの仕事であると提案したいと思います。すべての人は何かができるのです。あなたはこう言うでしょう。「プリンス兄弟、私は何に投資するべきでしょうか。」デレク・プリンス・ミニストリーという働きがあります。それは大きなミニストリーではありませんが、私たちは神の恵みにより、収穫の刈り取りのために全き献身をしています。しかし、それはあなたが導かれていると感じるものではないかもしれません。いくつかを提案させてください。私は誰からもお金をもらっているわけではありません。収穫のビジョンのために献身しているユース・ウイズ・ア・ミッションというのがあります。同じビジョンを持って世界中に出て行っている(OM)オペレーション・モバライゼーションというグループもあります。また、未伝の民族への伝道を目的とするブラザー・アンドリューによるオープン・ドアがあります。世界中で学生たちに伝道することを目的とするマラナタ・ミニストリーがあります。これらは単に数個のリストにすぎません。私はその中のどれかにかかわるべきだと言っているのではなく、あなたが教会で座って何もしないと、主が来られるとき、1タラントの人のような答えをしなければならなくなります。そして、イエスがあなたに向かって「外の暗闇に追い出さない。」と言うなら、悲劇的です。

マタイ25章に神から完全に拒絶された3種類の人々の姿があります。愚かな娘たち、自分が与えられたタラントを用いなかった不従順なしもべ、そしてイエスの兄弟たちに憐れみを示さなかったヤギの国です。それらすべては、選

択権なく、神の臨在から完全に拒絶されました。あなたは、共通点は何で、彼らがみな拒絶された原因は何でしたかと聞くでしょう。一言で答えられます。何だと思いませんか。何もなかった、です。あなたが拒絶されるのは、何もしない、それだけです。

私は、このように言うつもりではありませんでしたが、私は聖霊を知っており、私は間違っていないと思いますが、聖霊は今、真剣であられると感じています。聖霊は、特に教会に通う人々にわかってほしいと特に熱心に語っておられるように感じます。しかし、それが核心部分ではありません。私たちは、ともに集まることをやめるべきでないと信じます。すべての教会が神の民の世話をし、羊の面倒を見ていることを神に感謝します。しかし、あなたが日曜日に教会に行って、賛美を歌い、祈りをするだけでは、あなたは自分の義務を果たしていません。これは感情的ではなく、知的な確信から言うのですが、私は個人的に、すべてのクリスチャンは収穫の刈り取りに何らかの形でかかわる責任があると信じます。その収穫の刈り取りという栄光ある働きに関わらなくてもいいクリスチャンは、一人としていないと信じます。

イエスは、収穫は多いが働き手が少ないと言われました。次に何と言われましたか。収穫の主は、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい、です。働き手を送る、というのは、ギリシャ語では押し出すという意味で、イエスが人々から悪霊を追い出すときに使われた単語と同じ単語が使われています。聖霊に、収穫の中に人を追い出す、押し出すように祈りなさい。イエスをご自分が何を語っているかを知っておられました。あなたは、収穫の地で散歩はしません。それは何気なくすることではありません。聖霊からの押し出しです。何かをあきらめることを意味します。今日の教会に2つの偶像があるのをご存知ですか。安全と快適です。それらは毎週日曜日の朝礼拝される偶像です。

収穫の様子について続けましょう。私が今までに触れたことのないこととお話したいと思います。一つ以上の収穫があるでしょう。あわれみの収穫があり、さばきの収穫があるでしょう。そして、一つの収穫のあとすぐにもう一つの収穫が来るでしょう。その両方が黙示録14章で描写されています。黙示録について、私たちが理解できないことがあるとわかっています。しかし、私が理解していることを行なうことを、理解していないことに、決して妨げさせません。自分が答えを知らない疑問を解こうとして、なすべきことを知っていることを行なわないであれこれ思いめぐらしはしません。私が奥義と啓示されたものについて言ったことを覚えていますか。秘密とされていることはあるのです。私たちのうち誰一人として知らない、黙示録の正確な解釈について隠されていることがいくつかあると思います。しかし、啓示された多くのことがあります。私は、この2つの収穫の真理は明確な啓示であると信じます。それらを見てみましょう。黙示録 14:14 から始めましょう。まず、私たちは穀物の収穫があります。3つの収穫の順番を覚えていますね。穀物、ぶどう、油です。その順序は黙示録までずっと継続しています。そして、私たちがここでまず見るのは、憐れみの収穫である穀物の収穫で、神の国の中にたましいが集められることです。黙示を受けたヨハネは言っています。

「また、私は見た。見よ。白い雲が起こり、その雲に人の子のような方が乗っておられた。頭には金の冠をかぶり、手には鋭いかまを持っておられた。」

それはイエスに違いないと信じます。そのように表現される方は他にはいません。それは収穫の主としてのイエスです。イエスが収穫の主は祈りなさいと言ったことを覚えていますね。

「すると、もうひとりの御使いが聖所から出て来て、雲に乗っておられる方に向かって大声で叫んだ。『かまを入れて刈り取ってください。地の穀物は実ったので、取り入れる時が来ましたから。』」

ギリシャ語では、地の収穫は渴いている、熟しすぎていると言っています。それは、失う恐れがあります。

「そこで、雲に乗っておられる方が、地にかまを入れると地は刈り取られた。」

私が思い浮かぶのは、正確ではないかもしれませんが、私は、主が全地球に鎌を振りおろしている主が目に見え、それはとても素早いので、全収穫は5年以下、いやそれ以上かもしれませんが、刈り取られるように思えます。誰にも分かりませんが、それは長期間ではないでしょう。今日の世界で顕著なものの一つは、すべてが加速しているということです。あなたは気づいていますか。かつては100年かかっていたことが10年で行える。10年かかっていたことは1年で。それはサタンの働きに当てはまりますが、また、主にも当てはまるのです。主は急いでおられます。緊張感があります。

ですから、あわれみの収穫である、穀物の収穫は刈り取られます。何が続きますか。

「また、もうひとりの御使いが、天の聖所から出て来たが、この御使いも、鋭いかまを持っていた。すると、火を支配する権威を持ったもうひとりの御使いが、祭壇から出て来て、鋭いかまを持つ御使いに大声で叫んで言った。『その鋭いかまを入れ、地のぶどうのふさを刈り集めよ。ぶどうはすでに熟しているのだから。』」

私は、ここで刈り取っている人物は主ではなく、何か他の御使的存在であると思います。そして、今これは穀物の収穫ではなく、ぶどうの収穫です。そして、イスラエルでは、もはやこの方法ではなく、伝統的に彼らがぶどうを収穫する方法は、岩の2つの空洞(くうどう)がある2つの水ためがありました。その二つは高さが段違いになっており、高い方から低い方へ切り抜いた小さな水路がありました。彼らは収穫したブドウをすべて高い方の穴に入れ、歓喜の叫び声を上げて飛び跳ねながら足でそれを踏みました。ぶどうの収穫を喜び踏みしめている人々の描写が聖書にいくつかあります。そして、イザヤ63章でボツラから来るイエスの描写があります。ボツラはヘブル語でぶどうの収穫という意味です。イエスの衣は血で染まり、預言者は、「あなたはどこから来られましたか。」と言います。イエスは言います。「私は神のさばきの酒ぶねを踏んでいた。」イエスの衣は、ぶどうを踏む人の衣がぶどうの果汁で染まるように、血がふりかかっていた。これはその描写です。

「そこで御使いは地にかまを入れ、地のぶどうを刈り集めて、神の激しい怒りの大きな酒ぶねに投げ入れた。」

ゲッセマネと言う言葉を知っていますか。「ゲツ」とは酒ぶねから来ており、オリーブやぶどうが絞り出される場所です。酒ぶねは踏まれ、踏んでぶどうを押しつぶすのです。その酒ぶねは都の外で踏まれ、血は馬のくつわに届くほどに流れ出し、1600 スタディオン、つまり300Kmほどに広がりました。

多くの人々は黙示録の解釈は寓話(たとえ話)であると考えています。私は、聖書に預言的たとえの適用はほとんど見つけられず、新約聖書には一つも見当たりません。旧約聖書でなされた新約聖書のイエスのすべての預言は、

文字通り成就しました。一つとして寓話は見当たりません。聖書が記されたのちに考え出された預言を寓話化したパターンは聖書にはありません。しかし、みなさんに質問しましょう。あなたは、この血は、たとえの血であると思いますか。たとえの血のようなものがあるでしょうか。あなたの心は、神が不正な人をさばくという事実を受け入れる準備ができていますか。ご存知のように、教会で非常に一般的なヒューマンイズムの影響は、神が誰かをさばくことを謝罪しなければならないと考えを私たちに植えつけました。神の課題は、不正な者をさばくことではありません。神の課題は、不正な者を救うための方法を見つけることです。そして、神だけが十字架を通してその問題を解決することができたのです。しかし、誤解のないように言いますが、神はなおさばき主で、神は地上のすべての不正な者をさばかれます。

それは重要です。なぜなら、あなたの人々とのかわり方に影響するからです。もし私が神のさばきを信じていなかったら、私はメッセージできるかどうか定かではありません。もし、さばきがないとしたら、福音のメッセージの目的は何であるのでしょうか。バプテスマのヨハネは何と言いましたか。彼は人々に、「だれが必ず来る御怒りをのがれるように教えたのか。」と言いました。それはイエスのことを言っており、イエスは神の怒りから私たちを救ってくださるお方です。

神の課題は、不正なものをさばくことではありません。神の課題は、罪人を赦すことです。私たちは問題をまったく逆にしてしまったのです。

一つのことをお話して終わらしましょう、あなたが神のさばきを信じるなら、あなたの人々への話し方に影響を与えるでしょう。みことばからそれをお話する時間はありませんが、黙示録6章でよく知られている4人の馬に乗った人についてだけ見ていきたいと思えます。勝利の上にさらに勝利を得ようとして出て行った白い馬、死と暴虐と流血をもたらす赤い馬、欠乏、制限、飢餓をもたらす黒い馬、最後に、広範囲に死をもたらす青ざめた馬です。私は、それらは、神がこの世の終わりをもたらすフレーズを表わしていると信じます。それらの4頭の馬はすべて、天からの命令によって来たことに注目しています。赤い馬、黒い馬、青ざめた馬。つまり、神のさばきは神の命令によるのです。

しかし、私は白い馬に興味があります。白い馬は、勝利の上にさらに勝利を得ようとして出て行った、とあります。多くの異なる見解がありますが、私にとってそれが意味しているものをみなさんにお話しします。白い馬は福音のイエスで、出て行く、腰に剣を帯び、柔和と義のために、勝利のうちに乗り進め、と詩篇45篇で描かれています。これは、私にとって、福音が相当な緊急性をもって出て行くことを示しています。なぜなら、さばきが後に続くからです。赤い馬、黒い馬、青ざめた馬。これら4頭の馬はすべて、今日を乗り切っていると信じます。赤い馬は活動中ですし、黒い馬も、確かにアフリカで飢餓、栄養失調として活動しており、青ざめた馬は死をもたらしています。

しかし、私の確信であり、私の動機はこうです。妻と私はこれを昼も夜も頭の中で描いて見えています。白い馬がほかの馬たちの前に居続けなければなりません。ほかの馬たちが行く前に、私たちが人々のところに着かなければなりません。神のさばきが下る前に彼らにあわれみを示さなければなりません。そして、これは緊急です。待ってられません。それはあなたの都合のいい時であるとかではないのです。収穫を刈り取ることができる間に、刈り取るかどうかということです。何十億という人々への憐れみのメッセージを携え、彼らが聞く耳を持っているなら、多くが応答するでしょう。途上国へ旅行したことがないなら、イエスについての真理を聞くために、聖霊によってそこに置かれた人々の心に飢え渇きがあるということ、あなたはおそらく理解できないでしょう。

私たちが人口の98%がムスリムであるパキスタンにいたとき、3つか4つの町で公にメッセージをしました。9日のうちに、およそ9千人がイエスを受け入れたいと言いました。彼らの少なくとも半分はムスリムでした。彼ら全員が救われたと言っているのではありませんが、彼らは福音を聞きたがっていたのです。

みなさん、これは収穫の時です。そして、忘れないでください。収穫の時に眠っていた息子は、父の恥を引き起こしました。私たちの打ちの一人としてそのようでないことを願います。アーメン。